SHARP®

デジタルオーディオプレーヤー

形名
MP-S700
MP-S800

取扱説明書

音楽を聴く

FMトランスミッター

ボイスレコーダー

設定メニュー

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。



安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味 絵表示の一例です。

⚠：この記号は気をつける必要があることを表しています。

🛇：この記号はしてはいけないことを表しています。

❗：この記号はしなければならないことを表しています。

本製品について

⚠ 警告

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐに電源を切って電池を取り外し、お買いあげの販売店に連絡する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

指定の充電池を使用する。
指定外の充電池を使用すると、火災・事故の原因になります。

本体や端子に針金などを差し込まない。
火災・感電・事故・故障の原因になります。

自動車を運転中に操作しない。
運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

安全のため、次の場所には取り付けない。

- エアバッグシステムの動作を妨げる場所
- 運転の妨げになる場所

本体を落としたり、衝撃を加えたりしない。また必要以上にボタンを強く操作しない。
万一、サークルスライドボタンが外れた場合、小さなお子様がボタンを誤って飲み込む可能性があります。小さなお子様の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意



製品を分解・改造しない。

火災・感電・けがの原因になります。

雨が当たる所や、風呂場・台所など水や液体がかかる所、湿気の多い所では使用しない。

火災・事故・故障の原因になります。

油煙や湯気が当たる所では使用しない。

火災・事故・故障の原因になります。

日の当たる自動車内、直射日光の当たる所、火や暖房器具のそばなど、高温(60℃以上)になる所に置かない。

火災・事故の原因になることや、変形・変色することがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂が入りやすい所で使用しない。

発火・故障の原因になることがあります。



- 使用した後は、必ず本製品の電源を切ってください。

乾電池について

電池は誤った使いかたをすると、発熱、破裂、発火、液もれの原因になることがあります。以下のことをお守りください。

⚠ 注意



- プラス“+”とマイナス“ー”の向きを逆にして使用しない。
- 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- もれた液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
- もれた液が体や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗い流す。
- 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
- 長期間機器を使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

充電池／充電器について



市販のニッケル水素充電池を使用する場合は、必ず推奨品を使用し、その充電池で指定されている充電器を使用して充電してください。また充電池および充電器の使用にあたっては、それらの取扱説明書を充分ご確認のうえ、ご使用ください。

ヘッドホンの取り扱いについて

⚠ 警告



事故を防ぐため、次のことを必ず守る。

- 自動車やバイク、自転車の運転中はヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

⚠ 注意



ヘッドホンで聞くときは音量の設定に気をつける。

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

フックホルダーの取り扱いについて

⚠ 警告



フックホルダーは小さなお子様の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ご 注 意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容が変化・消失する場合があります。
録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずコピー(バックアップ)してください。(103ページ)

ご注意

- お客様が録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。



もくじ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品本体をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。



使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくために次のことは必ずお守りください。

取り扱いのご注意

持ち運ぶときは

- ズボンのポケットに入れたり、満員電車などで強く押されるような所に入れたりしないでください。
  製品に強い力が加わり、変形や故障、破損の原因になります。

取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

他の機器との接続について

- 本製品に接続して使用する機器の取扱説明書もよくお読みください。また、取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保存しておいてください。

屋外で使用する場合のご注意

雨天での使用

- 雨天・降雪中など、ぬれる恐れのある場所では使用しないでください。

海辺での使用

- 砂浜や砂地など、砂ぼこりの多い所に置いたり、使用したりしないでください。内部に砂などが入ると故障や発火の原因になります。

使用場所のご注意

日本国内でご使用ください

- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。
  海外ではご使用にならないよう、お願いいたします。

高温や低温の場所では使用しない

- 周囲の温度は0℃～40℃、湿度は30%～80%の範囲内でお使いください。

電磁波の強い場所や機器の近くでは使用しない

- 高圧線や携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くで録音すると雑音が入りますので使用しないでください。

病院や飛行機の中では電源をお切りください

- 病院や飛行機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、電源をお切りください。
  事故の原因になる恐れがあります。

保管場所のご注意

磁気にご注意

- 本製品に磁石・電気時計・磁石を使用したおもちゃなど、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が消えることがあります。

FMトランスミッターについて

本製品のFMトランスミッター機能は電波法上、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。このため、

・アンテナの種類や形状
・設置環境（車の場合、車種およびアンテナが設置されている場所）
・周囲環境（車の場合、走行環境を含む）
・混信などの電波環境

などに影響されやすく、ノイズ、音のひずみ、音の途切れ、受信困難などの状況が発生する場合があります。
本製品に同梱のヘッドホンのコードはFMトランスミッター使用時のアンテナを兼ねていますので、ヘッドホンをしっかり接続し、コードを伸ばしてご使用ください。

海外では使用できません。
FMトランスミッター機能は日本の電波の使用に関する法律に基づき、日本国内で使用されることを前提として設計しています。
他の国では電波の使用方法が異なるため、その国の法律に抵触する可能性がありますので絶対に海外では使用しないでください。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなります。また、本製品のFMトランスミッター機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することも、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害するおそれがあります。上記のような利用方法は、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Celeronは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。



本書の読み方

本書で使用している記号について

ご注意　故障の原因になる注意事項を記載しています。

参考　参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

ボタンの表示について

ボタンを枠で囲んで表記しています。

例）［MENU］を長押ししてモード選択画面を表示させます。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目などを「　」で囲んで表記しています。

例）「リジューム再生」を選びます。

MEMO

はじめに

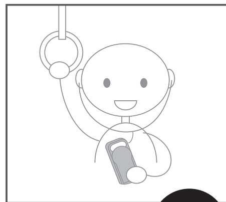


本機の特長

お出かけに

音楽を手軽に持ち歩く

本機に内蔵されたメモリに音楽を録音し、聴きたい場所で音楽を楽しむことができます。



38ページ

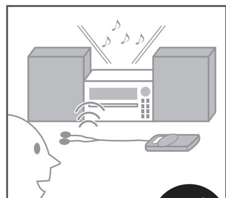
こんなときに

- 電車やバスでの移動中に

車やお部屋で

FMトランスミッター機能を使って音楽を楽しむ

録音した音声を、ワイヤレスでFMラジオに送信できます。カーオーディオやお部屋のオーディオ機器で、お気に入りの音楽を楽しめます。



74ページ

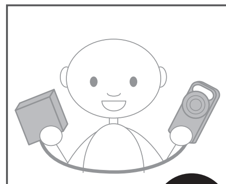
こんなときに

- 本機に録音した音楽をスピーカーなどで楽しみたいとき
- 車にFMラジオはあるけど、CDやMDが聞けないとき

お手持ちのオーディオ機器で

パソコンいらずのダイレクト録音

本機とMDプレーヤーなどのオーディオ機器を、付属のケーブルで直接接続して録音できます*。パソコン操作なしで好きな音楽を録音できます。



56ページ

こんなときに

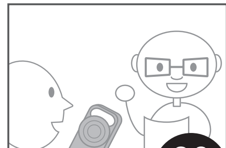
- 直接オーディオ機器から本機に録音したいとき
- 録りためたMDやカセットテープの音楽を本機に移したいとき

* 接続する機器によっては市販のケーブルが必要になる場合があります。

打ち合わせ時やアイデアを思いついた時に

ボイスレコーダーとして使う

内蔵マイクを使って、音声などを録音することができます。



80ページ

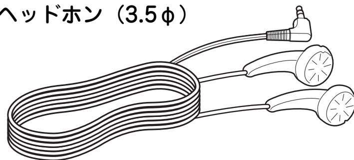
こんなときに

- 打ち合わせの備忘録として
- メモしておきたいことを声で録音し、ボイスメモとして使いたいとき

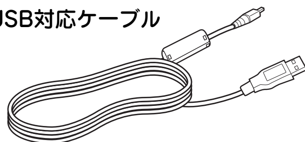


付属品を確認しましょう

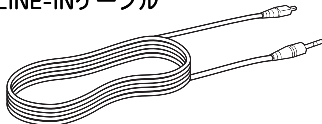
ヘッドホン（3.5φ）



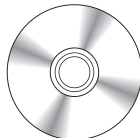
USB対応ケーブル



LINE-INケーブル



CD-ROM（Microsoft®Windows® 98 Second Edition用USB対応ドライバ、音楽CDデータ転送ソフト）



フックホルダー

アルカリ乾電池 単4形

取扱説明書（保証書付）※

クイックスタートガイド※

※日本語以外の説明書はございません。



電池を入れる／交換する

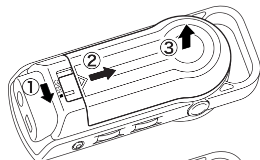
本機は市販の単4形アルカリ乾電池1本で動作します。

ご注意

- 電池の交換、取り出しは必ず電源を切ってから行ってください。

電池の入れかた

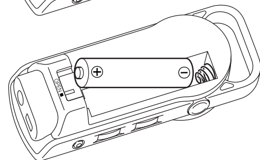
1 **電池ぶたロックスイッチを“OPEN” 側にします。（矢印①）**



2 **電池ぶたを矢印②の方向に引き、矢印③の方向に外します。**

3 **付属の単4形アルカリ乾電池を入れます。**

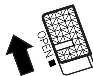
電池の＋・－をよく確認して正しく入れてください。



ご注意

- 本機および電池の端子をきれいな布などでふいて汚れがないようにして入れてください。汚れていると使用時間が短くなることがあります。

4 **手順1、2と逆の操作で、電池ぶたを取り付け、電池ぶたロックスイッチをロックします。**



ご注意

- 電池ぶたロックスイッチをロックしないと、電源を入れてもすぐにオフします。

電池の交換時期について

電池の残量は、画面右上に表示される電池マークを目安にして、交換してください。

 ：良好です。

 ：すこし少なくなりました。

 ：少なくなりました。交換することをお勧めします。

 ：とても少なくなりました。速やかに交換してください。

使用している電池

種 類	形 名	個 数	備 考
アルカリ乾電池 単4形	LR03	1本	

ご注意　• 指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因になります。

（参考）ニッケル水素電池について

本機は市販のニッケル水素電池で使用することもできます。下記の推奨品をご使用ください。（2006年8月現在）

・ニッケル水素電池：HR-4UG（三洋電機製）

参考使用時間　再生（FMトランスミッター：オフ、WMAファイル）：約10時間
再生（FMトランスミッター：オン、WMAファイル）：約5.5時間
録音：約3.5時間

ご注意　• ご使用に際しては、充電池の取扱説明書の表示・内容を充分ご確認のうえ、ご使用ください。



電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **電源が切れているとき、画面が表示されるまで MENU を押します。**

電源が入り、モード選択画面が表示されます。



参考

- 本機に取り込んだ音楽データの量などにより、MENU を押す時間が長くなることがあります。これは内部処理に時間がかかるために発生する現象であり異常ではありません。

電源を切る

1 **電源が入っているとき、■ を約3秒間押します。**

電源が切れます。



各部のなまえとはたらき

(1) ヘッドホン端子

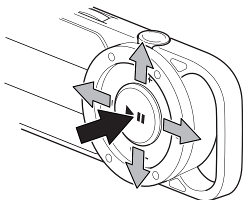
付属のヘッドホンを接続します。
ヘッドホンは、音楽を聴く以外に、FMトランスミッターのアンテナになります。
ヘッドホンのプラグは、奥までしっかりと差し込んでください。

(2) LINE-IN／USB 対応ケーブル接続端子

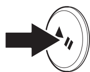
- 音楽をダイレクト録音するとき、付属のLINE-INケーブルを接続します。
- パソコンと接続するときに、付属のUSB対応ケーブルを接続します。

(3) サークルスライドボタン(再生/一時停止/ボリューム/早送り/巻き戻しボタン)

このボタンは、真っ直ぐ押す、上下または左右にスライドさせるの2つの操作方法があり、それぞれ働きが異なります。



真っ直ぐ押す(▶II)



- 音楽などの再生または一時停止をするとき真っ直ぐ押します。
  録音の一時停止や再開をするときも真っ直ぐ押します。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で真っ直ぐ押すと選ばれている項目を決定/実行します。

上〔VOL+〕、下〔VOL-〕にスライドさせる



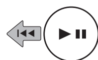
- ボリューム(音量)を調節するとき、音楽などの再生または一時停止中に上または下にスライドさせます。
  スライドしたままにすると連続的に切り替わります。
- リスト画面などで、項目を選択するとき上または下にスライドさせます。スライドしたままにすると、連続して項目が送られます。

右〔▶▶I〕にスライドさせる



- 再生中に右にスライドさせると、次の曲の先頭に移動します。
  スライドしたままにすると再生中の音楽を早送りします。
- メニュー画面やリスト画面で右にスライドさせると、選ばれている項目が決定されます。
- モード選択画面でモードを選ぶときに右にスライドさせます。

左〔 ⏮ 〕にスライドさせる



- 再生中に左にスライドさせると曲の先頭に戻ります。曲の先頭で左にスライドさせると、前の曲の先頭に移動します。
  スライドしたままにすると再生中の音楽を巻き戻します。
- メニュー画面やリスト画面で左にスライドさせると、１つ前のメニュー画面などに戻ります。
- モード選択画面でモードを選ぶときに左にスライドさせます。

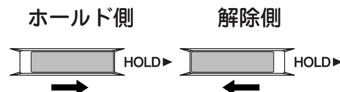
ご注意

- ボタンをスライドさせるときは、上から力を加えずに軽くスライドさせてください。上から押さえてしまうと再生や一時停止などの機能が働き、正しく動作しません。

（4）ホールドボタン（スライド式）

ホールド側にすると本機のボタン操作を受け付けません。誤ってボタンが押され動作することを防ぎます。解除するときは解除側にしてください。

サークルスライドボタンなどを誤って押してしまうことがありますので、操作をしないときはホールド側にしておくことをお勧めします。



（5）録音ボタン（ ● ）

録音を開始するとき押します。

（6）A↔Bボタン（A↔B）

このボタンの働きは設定により変わります。

- 「AB区間リピート」に設定されているとき、リピート（繰り返し再生）区間の設定・解除をするときに使います。（71ページ）
- 「再生速度切替」に設定されているとき、音楽などの再生または一時停止中に押すと再生速度が変わります（72ページ）（画面左上で ▶、L▶、H▶ の表示が切り替わります 26ページ）。
- ボイスレコーダーモードで録音リストを表示させるときに使います。

(7) 停止/電源オフボタン(■)

- 再生または録音を停止します。
- 電源を切るとき、約3秒間押します。

(8) ﾒﾆｭｰ/ﾓｰﾄﾞ/電源ｵﾝﾎﾞﾀﾝ(MENU)

- 電源を入れるとき、画面が表示されるまで押します。
- 音楽モードやボイスレコーダーモードで、録音中や録音一時停止中以外に押せば、各モードの設定メニュー画面になります。
- 録音中や録音一時停止中以外で、長押しする(約2秒間押す)とモード選択画面になります。

(9) RESET スイッチ

正常に表示しない、正しく操作できないなどの異常が発生したときにボールペンなどで押します。
(108ページ)

(10)電池ぶた(電池収納部)

(11)電池ぶたロックスイッチ

電池ぶたが容易に外れないようにロックします。

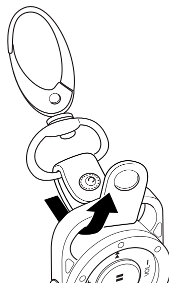
(12)内蔵マイク

ボイスレコーダーで音声を録音するとき使用するマイクです。

参考

- **ボタン操作について**
  本機では、ボタンを押して離したときに機能が働きます。

フックホルダーの取り付けかた



帯を本体に通し固定します。
フックを使いカバンなどにつなぎます。
(フックを本体に付けると本体が傷つくことがあります。)

ご注意

- フックホルダーを本機に取り付けて使用する際は、フックや本機を強く引っぱったり、振り回したりしないでください。
  故障や破損の原因になります。



表示画面の見かた

モード選択画面



この画面は、電源を入れてしばらくすると表示されます。

1 **MENU を長押しします。**
モード選択画面が表示されます。

2 **▶II を〔▶▶I〕または〔I◀◀〕にスライドさせてモードアイコン(絵)を選び ▶II を押すと、各モードの画面になります。**

各モードについて

(1) 音楽モード:
パソコンから取り込んだ音楽データなどを再生したり、LINE-IN端子から音楽などを録音したりするモードです。

(2) ボイスレコーダーモード:
ボイスレコーダーとして、音声を録音するモードです。

(3) 設定モード:
本機の全体に関係する設定を行うモードです。

(4) 電池マーク:
電池の残量の目安を示すマークです。(19ページ)

表示画面について
本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

再生画面など





音楽などを再生をするときに表示される画面です(ただし、一部省略しています)。

(1) 現時点の再生・録音時間

(2) 曲などの長さ・録音残り時間

(3) ホールド状態

(4) FMトランスミッター送信状態

(5) シャッフル再生状態

(6) リピート再生状態

：1曲リピート
：全曲リピート

(7) AB区間リピート再生状態

(8) イコライザー表示

N：ノーマル　R：ロック
C：クラシック　P：ポップ
B：バス　S：ソフト

(9) 曲番／曲数表示

(10) 動作状態

：再生(普通速度)
L：再生(遅い速度)
H：再生(速い速度)
：録音　：停止
：一時停止　：早送り
：巻戻し

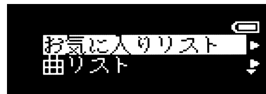
(11) 音量(ボリューム)

を〔**VOL+**〕または〔**VOL-**〕にスライドしたときに一時的に表示されます(音量はバーの左の数字で0〜30の範囲で調整できます。)

画面が見えにくいときは
表示部に太陽光などの強い光が当たると、画面が見えにくくなります。このようなときは、建物の影になった場所に移動するか、表示部を手でおおって表示部に影がかかる状態にすると見やすくなります。
また、表示部のコントラストを調整してみてください。（90ページ）

メニュー画面などでの項目の選びかた

本機を使用する場合、ボタンで操作する以外に、多くの場合はメニュー画面やリスト画面で必要な項目を選んでいきます。



メニュー画面やリスト画面では、**▶II** を〔**VOL+**〕または〔**VOL-**〕にスライドさせてカーソルを移動させ目的の項目を選び、**▶II** を真っ直ぐ押して実行（決定）します。（ボタンの働き：22ページ）
表示項目が多く、画面に表示されていない場合は画面右側に▼ や▲ が表示されます。このときは **▶II** を〔**VOL+**〕または〔**VOL-**〕にスライドさせてカーソルを移動させていくことにより、隠れている項目を表示させることができます。

ご注意

- **▶II** ボタンをスライドさせるときは、上から力を加えずに軽くスライドさせてください。

再生、録音、設定モードのメニューについて

MENU を押すと、本機の状態に応じて、いろいろなメニューが表示されます。たとえば、ボイスレコーダーの録音待機中画面で MENU を押すと、「録音レベル」、「録音音質」のメニューが表示され、録音レベルや録音音質の設定が可能になります。
下の図は、再生、録音、設定の各モードで表示されるメニューをまとめたものです。
（本機の状態によっては、表示されないメニューがあります）

音楽モード

再生前・再生中
- 再生
- EQ
- リピート
- シャッフル
- お気に入りに追加
- A↔B ボタン設定
- 録画モード
- FMトランスミッター
- 削除
- リストから削除

録音待機中
- 録音レベル
- 録音音質
- シンクロ録音

ボイスレコーダーモード

再生前・再生中
- リジューム
- EQ
- リピート
- A↔B ボタン設定
- FMトランスミッター
- 削除

録音待機中
- 録音レベル
- 録音音質

設定モード

設定
- オートパワーオフ
- スリープタイマー
- 省電力設定
- コントラスト
- フェードインボリューム
- 設定の初期化
- 製品情報



パソコンと接続する

パソコンと接続することで、パソコンから本機に音楽データを取り込んだり、本機で録音した音楽データをパソコンにコピー(バックアップ)したりすることができます。

必要なパソコンのシステム構成

音楽データの取り込みなどを行うには、以下のシステムが必要です。

対応機種	IBM PC/AT互換機
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® Millennium Edition Microsoft® Windows® 98 Second Edition
その他	USBインターフェース、CDドライブ

Windows® 98 Second Editionをご使用の場合は

1 **CD-ROM(付属)のUSB対応ドライバをインストールします。****(33ページ)**

2 **本機とパソコンを接続します。****(30ページ)**

パソコンと接続する

1 **パソコンの電源を入れます。**

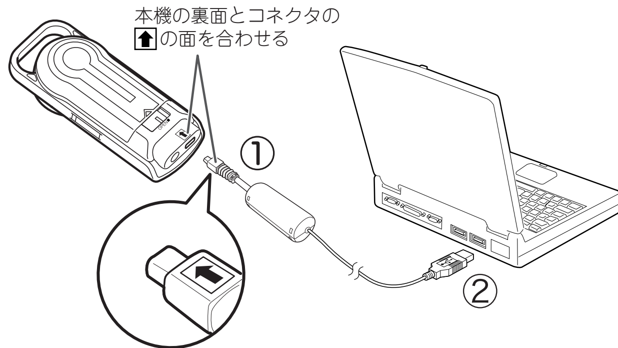
2 **USB対応ケーブル(付属)を使って、図の①②の順に本機とパソコンを接続します。**

本機に差し込む(①)ときは、本機の裏面とコネクタの ⬆ と記されている面を合わせて差し込みます。

ご注意

- 強く差し込まないでください。故障の原因になります。

接続すると、本機の表示部に「**LINK!!**」と表示されます。



ご注意

- USB対応ケーブルが差し込みにくいときは、コネクタの向きを確認してください。誤った向きで無理に差し込むと、故障の原因になります。
- 「LINK!!」表示中は、本機のすべてのボタンが無効になります。ボタン操作をしないでください。
- 音楽データの取り込み中にUSB対応ケーブルを抜かないでください。本機に保存しているデータが破損することがあります。

参考

- 本機はUSBメモリとして使用することができます。

パソコンから取り外す

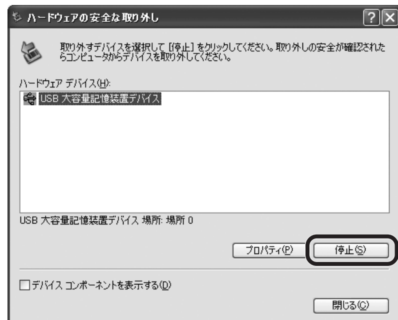
Windows® XPを例に説明します。

Windows® XP以外のOSをご使用の場合は、Windowsのヘルプや解説書（市販）をご覧ください。

1 パソコン画面のタスクトレイの （ハードウェアの安全な取り外し）をダブルクリックします。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2 「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックして選択し、[停止]をクリックします。



「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「SHARP Digital Audio USB Device」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。

4 「ハードウェアの安全な取り外し」画面で[閉じる]をクリックします。

5 パソコンから本機を取り外します。

取り外すと、本機の電源は自動的に切れます。

参考

- 本機からUSB対応ケーブルを抜いても、「LINK!!」表示が消えないことがまれにあります。この場合は、裏面のRESETスイッチをボールペンなどで押してから、MENUを押して電源を入れてください。



付属プログラムをインストールする

CD-ROM(付属)には、パソコンと組み合わせて本機を快適にお使いいただくためのプログラムが収録されています。

付属プログラムの種類とおもな働き

音楽CDデータ転送ソフト

音楽データを本機に取り込むためのソフトです。
パソコンに音楽CDをセットすると、自動的に本機に音楽データが転送されますので、パソコン操作に不慣れな方におすすめします。

※このソフトはMicrosoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional以外のOSではインストールできません。
また動作にはWindows Media® Player10が必要です。他のWindows Media® Playerでは使用できません。

USB対応ドライバ

Windows® 98 Second Edition専用のUSB対応ドライバです。
本機をパソコンと接続する前にインストールしてください。
他のOSをご使用の場合はインストールしないでください。

音楽CDデータ転送ソフトの動作に必要なパソコンのシステム構成

対応機種	IBM PC/AT互換機
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Professional
CPU	Intel® Celeron® 500MHz以上
HDD	20MB以上の空き容量
メモリ	256MB以上
ディスプレイ	SVGA(800×600ドット)以上およびハイカラー(65,536色)以上の解像度を持つカラーディスプレイ
その他	USBインターフェース、CDドライブ、マウス、 Windows Media® Player 10、 Adobe® Acrobat® Reader™、またはAdobe® Reader™

参考

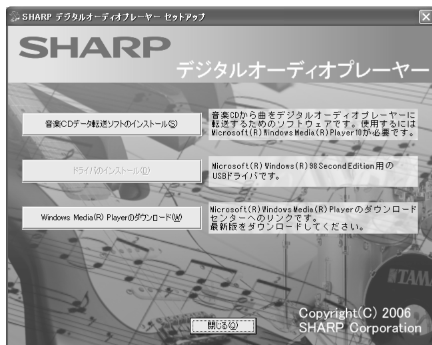
- インターネットに接続できる状態であれば、Windows Media® Player 10を、CD-ROM(付属)のセットアップ画面からダウンロードできます。
- インターネットに接続できる状態であれば、音楽CDから音楽データを取り込んだ場合に、インターネットから情報を取得して自動的に曲名などを付加することができます(インターネットに情報のない曲もあります)。

インストールのしかた

1 パソコンのCDドライブにCD-ROM(付属)をセットします。

セットアップ画面が表示されます。

この画面が表示されないときは、エクスプローラからCD-ROMを開き、「installer.exe」ファイルを実行してください。



2 画面上のボタン([音楽CDデータ転送ソフトのインストール]など)をクリックします。

インストールが始まりますので、画面の指示に従ってください。

3 インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

必要に応じてパソコンを再起動してください。

同じ操作で必要なソフトをインストールします。

これでソフトのインストールは完了です。

参考

- パソコンにWindows Media® Player 10がインストールされていないときは、音楽CDデータ転送ソフトをインストールできません。パソコンがインターネットに接続していることを確認した後、[Windows Media® Playerのダウンロード]をクリックします。Windows Media® Playerのダウンロードページが表示されますので、表示されたページからWindows Media® Player 10をダウンロード、インストールしてからあらためて音楽CDデータ転送ソフトをインストールしてください。

音楽CDデータ転送ソフトを使うときは

「音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む」(41ページ)をご覧ください。

MEMO

音 楽

を聴く

Music Player



音楽を聴く前の準備

パソコンを使って録音する場合

音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む（41ページ）

パソコンと本機を接続します。（30ページ）

パソコンに音楽CDをセットします。（42ページ）

音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを転送します。（42ページ）

Windows Media® Playerを使って音楽データを取り込む（44ページ）

パソコンと本機を接続します。（30ページ）

パソコンに音楽CDをセットし、音楽データをパソコンに取り込みます。（49ページ）
または、音楽サイトから音楽データを購入します。

Windows Media® Playerを使って音楽データを転送します。(52ページ)

パソコンを使わずに録音する場合

CD/MDプレーヤーから録音する（ダイレクト録音）（56ページ）

お持ちのオーディオプレーヤーに音楽CDやMDなどをセットします。

お持ちのオーディオプレーヤーのヘッドホン端子と本機のLINE-IN端子を接続します。（56ページ）

音楽を再生し、本機で録音します。（57ページ）

これで音楽を聴くことができます！

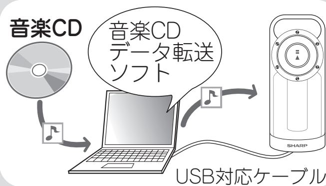


音楽を録音する

3種類の録音方法があります。

音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む

パソコンを使って音楽CDに収録されている音楽データを、簡単な操作で本機に取り込むことができます。



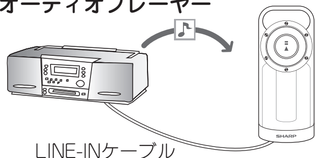
Windows Media® Playerを使って音楽データを取り込む

Windows Media® Playerを使って音楽CDからパソコンにデータを取り込んだ後、本機に取り込むことができます。
インターネットの音楽サイトから音楽データを購入した場合も、この方法で本機に取り込みます。



CD/MDプレーヤーから録音する

LINE-INケーブル（付属）を使って、お手持ちのオーディオ機器から本機に直接録音することができます。



音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む

ここでは、ほとんどの操作が自動化される「自動転送」機能を使った取り込み方法を説明します。

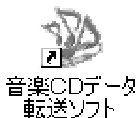
参考

- パソコンでインターネットに接続できることを確認してください。音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが、インターネットを通じて自動的に取得されます（インターネットに情報のない曲もあります）。
- コピー防止機能を備えた音楽CDは取り込めません。

1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **本機とパソコンを接続します。****（30ページ）**

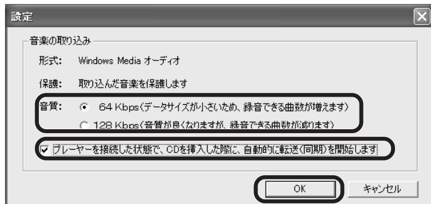
3 **パソコンのデスクトップの［音楽CDデータ転送ソフト］をダブルクリックします。**





音楽CDデータ転送ソフトが起動します。

初めて起動したときは、設定画面が表示されます。好みに応じて音質を設定し、「プレーヤーを接続した状態で…」にチェックマークを入れ、[OK]をクリックしてください。



4 **パソコンのCDドライブに音楽CDをセットします。**

約5秒後、転送を開始する確認画面が数秒間表示された後、自動的に音楽データが本機のメモリに転送されます。
転送が完了するまで、しばらくお待ちください。
転送が完了すると、確認画面が数秒間表示され、自動的に消えます。

5 **[閉じる]をクリックして音楽CDデータ転送ソフトを終了します。**

6 **本機をパソコンから取り外します。****(31ページ)**

これで音楽データの取り込みは完了です。

音楽CDデータ転送ソフトの詳しい使い方は

音楽CDデータ転送ソフトは、CDから特定の曲を選んで転送したり、曲名を編集したりすることもできます。
音楽CDデータ転送ソフトの詳しい使い方は、「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をご覧ください。
パソコン画面のタスクバーの[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP音楽CDデータ転送ソフト」－「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をクリックすると表示されます。

参考

- 「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」を見るには、Adobe® Acrobat® Reader™またはAdobe® Reader™が必要です。必要に応じて、アドビシステムズ社のサイト(http://www.adobe.com/jp)からダウンロードしてインストールしてください。

Windows Media® Player を使って音楽データを取り込む

Windows Media® Player 10の設定をした後、パソコンに音楽CDの音楽を取り込み、取り込んだ音楽データを本機に転送(同期)します。

Windows Media® Player 10の設定をする

本機にうまく音楽を取り込むためには、Windows Media® Player 10を正しく設定する必要があります。この設定は初めて音楽を取り込むときや、本機をフォーマットしたときに必要です。次回からは必要ありません。

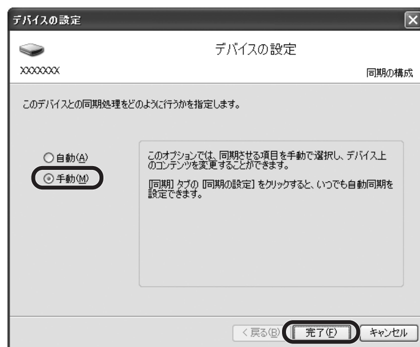
1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **本機とパソコンを接続します。****(30ページ)**

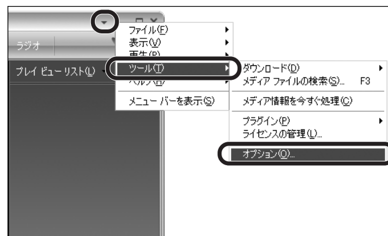
3 **パソコン画面のタスクバーの[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Windows Media Player」をクリックします。**

Windows Media® Player 10が起動します。
しばらくすると、デバイスの設定画面が表示されます。

4 「手動」をクリックして選び、[完了]をクリックします。

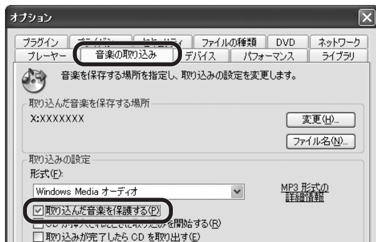


5 画面右上の（アプリケーションメニューにアクセスします）をクリックし、「ツール」－「オプション」をクリックします。



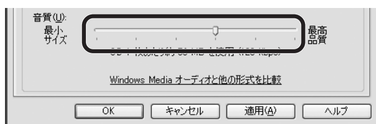
「オプション」画面が表示されます。

6 「音楽の取り込み」タブをクリックし、「取り込んだ音楽を保護する」をクリックしてチェックマークを付けます。



7 必要に応じて音質を設定します。

音質のスライダーを左右に動かして設定します。通常は128kbpsか64kbpsを選択してください。

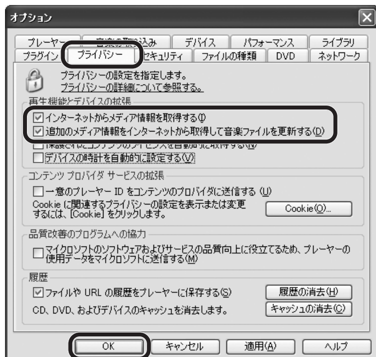


参考

- 音質は数値が大きいほど音質が良くなりますが、データサイズが大きくなるため、本機に取り込める曲数が少なくなります。

8 「プライバシー」タブをクリックし、「インターネットからメディア情報を取得する」と「追加のメディア情報をインターネットから取得して音楽ファイルを更新する」をクリックしてチェックマークを付けます。

音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが、インターネットを通じて自動的に取得されるようになります。



9 [OK]をクリックします。

10 デバイスへの同期の設定をします。

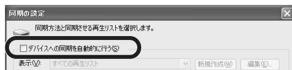
この設定をすることで、Windows Media® Playerの同期リストと本機が自動的に同期せず、誤った操作が行われないようにします。

①Windows Media ® Player 10で画面上部の「同期」タブをクリックし、「同期の設定」をクリックします。

「同期の設定」画面が表示されます。



②「デバイスの同期を自動的に行う」をクリックして、チェックマークを外し、[OK]をクリックします。



11 デバイスのフォルダ階層の設定をします。

この設定は、Windows Media® Player 10を起動中に本機を初めて接続したときや、本機をフォーマットしたときに必要です。

①(プロパティと設定を表示します)をクリックします。
「リムーバブルディスクのプロパティ」画面が表示されます。



②「デバイスにフォルダ階層を作成する」をクリックしてチェックマークを入れ、[適用]、[OK]を順にクリックします。



これでWindows Media® Player 10の設定は完了です。

音楽CDからパソコンに音楽を取り込む

参考

- パソコンでインターネットに接続できることを確認してください。音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが、インターネットを通じて自動的に取得されます(情報が誤っていることもあります)。
- コピー防止機能を備えた音楽CDは取り込めません。

1 **Windows Media® Player 10で、画面上部の「取り込み」タブをクリックします。**



2 **パソコンのCDドライブに音楽CDをセットします。**

音楽CDの再生が始まったときは、(停止)をクリックして再生を停止します。
セットした音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが表示されます。
インターネットに接続されていない場合は、曲名やアーティスト名などが表示されず「トラック1～」「アーティスト情報なし」と表示されます。

3 取り込みたい曲にチェックマークが付いていることを確認して、「音楽の取り込み」をクリックします。



音楽データの取り込みが始まります。

取り込みたい曲の「取り込みの状態」の欄に「ライブラリに取り込み済み」とすべて表示されるまで、しばらくお待ちください。

4 画面上部の「ライブラリ」タブをクリックします。

取り込んだ音楽データが確認できます。

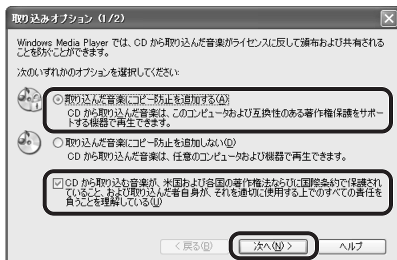


これでパソコンへの音楽データの取り込みは完了です。

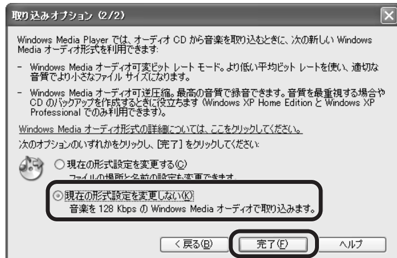
参考

- Windows Media® Player 10で、曲を選んで取り込んだり、曲名やアルバム名などを編集したりすることができます。詳しい使い方はWindows Media® Player 10のヘルプをご覧ください。画面右上の（アプリケーションメニューにアクセスします）をクリックし、「ヘルプ」ー「Windows Media Playerヘルプ」をクリックすると表示されます。
- **初めて音楽を取り込むときは**
  「音楽の取り込み」を初めてクリックしたときは、「取り込みオプション」画面が表示されます。この場合は次の操作を行ってください。

①「取り込んだ音楽にコピー防止を追加する」と「CDから取り込む音楽が…」をクリックし、［次へ］をクリックします。



②音楽の取り込み形式に問題なければ、「現在の形式を変更しない」をクリックし、［完了］をクリックします。取り込みの音質などを変更したい場合は、「現在の形式設定を変更する」を選択し、変更してください。



取り込んだ音楽データを本機に転送する

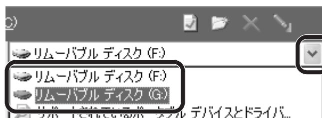
音楽データを本機に転送します。

1 **本機をパソコンに接続していない場合は、パソコンと接続します。(30ページ)**

2 **Windows Media® Player 10で、画面上部の「同期」タブをクリックします。**



3 **画面右側の⌄をクリックし、本機に該当するリムーバブルディスクを選びます。**

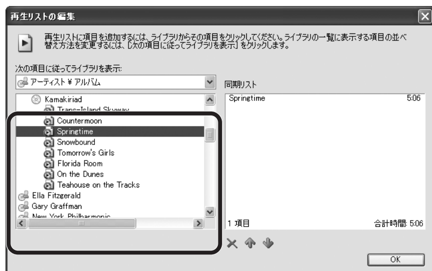


4 **「再生リストの編集」をクリックします。**

「再生リストの編集」画面が表示されます。

5 **左側の曲名の一覧から、転送したい曲をクリックして選びます。**

選んだ曲が右側の「同期リスト」に表示されます。
同じ操作で転送したい曲をすべて選び、[OK]をクリックします。



6 **「同期の開始」をクリックします。**

音楽データの転送が始まります。
転送が完了するまで、しばらくお待ちください。

7 **転送した音楽データが右図の位置(「VOICE」、「LINE-IN」などのフォルダの上位)に保存されていることを確認します。**

これで本機への音楽データの取り込みは完了です。

音楽サイトで購入した音楽データを取り込む

音楽サイトなどで購入し、Windows Media® Player 10にリストされていない音楽データや、他のソフトウェアで作成した音楽データは、以下の操作で取り込みます。

1 **Windows Media® Player 10を起動します。**

2 **画面上部の「ライブラリ」タブをクリックします。**

3 **画面左下の「ライブラリに追加」をクリックし、「ファイルまたは再生リストを追加」をクリックします。**

「ファイルを開く」画面が表示されます。

4 **購入した音楽データをクリックして選び、[開く]をクリックします。**

選んだ音楽データがライブラリに追加されます。(画面左側の「購入した音楽」をクリックすると表示されます)

取り込んだ音楽データを本機へ転送する方法については、「取り込んだ音楽データを本機に転送する」(52ページ)を参照してください。

参考

- Windows® XP以外のOSをご使用の場合は、Windows Media® Player 10の代わりにWindows Media® Player 9がご利用になれます。ただし、Windows Media® Player 9ご利用時は以下の制限があります。
  - ・本機に取り込まれた音楽データは、アルバム収録順でなく、ファイル名順になります。アルバム収録順にするときは、本機に転送する前に、Windows Media® Player 9でファイル名の先頭に「01」、「02」などの数字を追加してください。
  - ・指定したフォルダの下に階層を作らずに音楽データを転送(同期)します。必要な場合は、アルバム名、アーティスト名などのフォルダを作成して音楽データを移動してください。
- パソコンと本機を接続して、ファイルコピーの操作で音楽データを本機にコピーすることができます。ただし、著作権保護された音楽データは、コピーしても正しく再生されません。また、MP3形式の音楽データをこの方法でコピーすると著作権を侵害する恐れがありますので、Windows Media® Player をご利用になることをおすすめします。

CD/MDプレーヤーから録音する(ダイレクト録音)

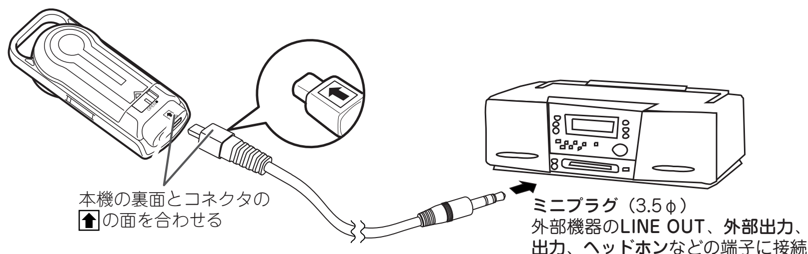
パソコンを使わずに、お手持ちのオーディオ機器から本機に直接録音する方法です。

オーディオ機器と接続する

LINE-INケーブル(付属)を使って、本機とオーディオ機器を接続します。
本機とオーディオ機器の電源を切った状態で接続してください。
本機に差し込むときは、本機の裏面とコネクタの ⬆ と記されている面を合わせて差し込みます。

ご注意

- 強く差し込まないでください。故障の原因になります。



オーディオ機器の端子が3.5φミニジャック以外の場合は、変換アダプター(市販品)などをご使用ください。

参考

- ケーブルのオーディオ機器側のプラグは奥までしっかりと差し込んでください。正しく接続されていないと、雑音が入ったり、音が途切れたりします。

録音を始める前に

大切な録音をする前に、必ず試し録音をして、本機で再生音を確認してください。

録音レベルが適切でないと、音が小さすぎたり、大きすぎて音が割れたりします。（録音レベルの設定のしかた：59ページ）



- オーディオ機器のLINE-OUT端子に本機を接続している場合に、録音レベルを設定してもうまく録音できないときは、オーディオ機器のヘッドホン端子など、他の音声出力端子に本機を接続してみてください。
- オーディオ機器のヘッドホン端子を使って録音するときは、オーディオ機器にヘッドホンを接続して、ふだん聴くときよりも音が割れない程度に少し大きめの音量に調節しておいてください。

オーディオ機器から録音する

1 **本機とオーディオ機器を接続します。（56ページ）**

2 **MENUを押して電源を入れます。**

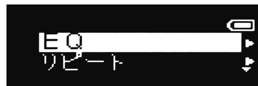
モード選択画面が表示されます。

3 **▶IIを〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「音楽」を選び、▶IIを押します。**

音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

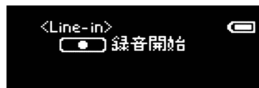
4 **MENUを押します。**

音楽モードの設定メニュー画面が表示されます。



5 **▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「録音モード」を選び、▶II を押します。**

録音モードの待機画面が表示されます。



6 **必要に応じて、録音レベル、録音音質、シンクロ録音の設定をします。**

録音レベルの設定のしかた　：59ページ
録音音質の設定のしかた　：61ページ
シンクロ録音とは　：62ページ

7 **● を押します。**

録音が始まります。

8 **オーディオ機器で音楽を再生します。**

録音を一時停止するには	▶II を押します。 再開するには、再度 ▶II を押します。
録音を停止するには	■ を押します。

9 **録音が終わったら、本機とオーディオ機器の電源を切り、本機とオーディオ機器を取り外します。**

参考

- 音楽データは、「AU001.SZM」、「AU002.SZM」、「AU003.SZM」…のファイル名で保存されます。
- 本機で録音した音楽データは独自形式で録音されるため、パソコンで再生することはできません。
- シンクロ録音中に約30秒以上の無音部があった場合、本機はオーディオ機器の再生が終了したものと判断して自動的に停止します。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- 録音中、本機に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音された音量とは異なります。録音レベルは、録音した後の本機の再生音で確認してください。
- CDの音楽をダイレクト録音した場合、CDより音質が低下します。音質を重視されるときは、パソコンを使ってCDの音楽を録音してください。

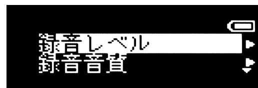
録音レベルの設定のしかた

録音レベルは「高」「中」「低」の3段階から選びます。

1 **「オーディオ機器から録音する」(57ページ)手順1～5の操作で、録音モードの待機画面を表示させます。**

2 **MENU を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。



3 **▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「録音レベル」を選び、▶II を押します。**

録音レベル選択画面が表示されます。

4 **録音レベルを選び、▶II を押します。**

レベルが低すぎるとき：「高」または「中」

レベルが高すぎるとき：「低」または「中」

参考

- 上記の操作を行っても録音レベルが適切でないときは、オーディオ機器のヘッドホン端子を使用し、オーディオ機器の音量を調節して録音してください。

録音レベルを設定すると、録音モードの待機画面に戻ります。

録音音質の設定のしかた

録音音質は「高」「中」「低」の3段階から選びます。
「高」を選ぶと音質は良くなりますが、総録音時間は短くなります。

1 **「オーディオ機器から録音する」(57ページ)手順1〜5の操作で、録音モードの待機画面を表示させます。**

2 **[MENU]を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

3 **[▶II]を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「録音音質」を選び、[▶II]を押します。**

録音音質選択画面が表示されます。

4 **録音音質を選び、[▶II]を押します。**

「高」： 128Kbps
「中」： 112Kbps
「低」： 96Kbps

録音音質を設定すると、録音モードの待機画面に戻ります。

シンクロ録音機能のオン／オフのしかた

シンクロ録音とは、録音中に約3秒以上の無音部があった場合、その位置を曲の区切りと判断して1曲（1ファイル）にする機能です。録音中に約30秒の無音部があった場合、録音を終了します。
シンクロ録音を「オフ」にすると、録音開始～終了までが1曲（1ファイル）になります。
ご購入時の設定は「オン」です。

1 **「オーディオ機器から録音する」（57ページ）手順1～5の操作で、録音モードの待機画面を表示させます。**

2 **MENU を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

3 **▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「シンクロ録音」を選び、▶II を押します。**

シンクロ録音選択画面が表示されます。

4 **「オン」または「オフ」を選び、▶II を押します。**

録画モードの待機画面に戻ります。



音楽を聴く

録音した音楽を聴いてみましょう。
録音がまだお済みでないときは、次のいずれかの方法で録音してください。

音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む..... 41ページ
Windows Media® Playerを使って音楽データを取り込む.... 44ページ
CD/MDプレーヤーから録音する(ダイレクト録音)............. 56ページ

本機で再生できる音楽データの形式は次のとおりです。

- パソコンから取り込んだ音楽データ(WMA形式またはMP3形式)
- ダイレクト録音した音楽データ(SZM形式(独自形式))

基本的な再生のしかた

音楽モードのリスト画面について

収録されている曲は、下記のリストから再生することができます。

- リジューム再生　：以前、再生していた曲を先頭から再生します。　(66ページ)
- お気に入りリスト：事前に登録しておいた曲を再生します。　(67ページ)
- 曲リスト　　　　：パソコンから取り込んだ音楽データから、曲名を選んで再生します。
- 録音リスト　　　：音楽モードでダイレクト録音した音楽データから選んで再生します。

ここでは、曲リストや録音リストから再生する手順を説明します。

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**

2 **MENU を押して電源を入れます。**

モード選択画面が表示されます。

3 **▶II を〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「音楽」を選び、▶II を押します。**

音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

4 **▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「曲リスト」または「録音リスト」を選び、▶II を押します。**

曲リスト　：　パソコンから取り込んだ音楽データ

録音リスト　：　ダイレクト録音した音楽データ

5 **フォルダ( )が表示された場合は、フォルダ( )を選び、▶II を押します。**

さらにフォルダ( )が表示された場合は、曲が表示されるまで手順5を繰り返します。

6 **リストから聴きたい曲を選び、▶II を押します。**

選んだ曲から再生が始まり、リストの全曲を再生します。

フォルダ内の曲を選んだ場合も同様です。

音量を調節するには	大きくする：▶IIを〔VOL+〕へスライドさせる 小さくする：▶IIを〔VOL-〕へスライドさせる
再生を一時停止するには	▶IIを押します。 再開するには、再度▶IIを押します。
次の曲／前の曲へ移動するには	次曲へ：再生中に▶IIを〔▶▶I〕へスライドさせる 前曲へ：再生中に▶IIを〔I◀◀〕へスライドさせる （曲の先頭で▶IIを〔I◀◀〕へスライドさせると前の曲に移動し、曲の途中でスライドさせると、再生中の曲の先頭に移動します。）
早送り／巻き戻しするには	再生中に▶IIを〔▶▶I〕（早送り）または〔I◀◀〕（巻戻し）へスライドさせたままにして好みの位置で指を離します。
再生を停止するには	■を押します。

参考

- フォルダの中に子フォルダがある場合、子フォルダの曲はとばして再生されます。子フォルダの曲も含めて全曲を再生するときは、「アルバムの全曲を聴く」（下記）をご覧ください。
- 曲名が長いときは自動的にスクロールして表示されます（長すぎる場合は途中までを表示します）。

アルバムの全曲を聴く

フォルダの中に子フォルダがある場合、子フォルダの曲も含めて全曲が再生されます。

1 **「基本的な再生のしかた」（64ページ）手順1～3の操作をします。**

2 ▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「曲リスト」を選び、▶IIを押します。

3 再生するフォルダ( )を選びます。

4 MENUを押します。

5 「再生」を選び、▶IIを押します。

再生が始まります。

リジューム再生する

前回途中で停止した曲や音声を、先頭から再生します。

1 リジューム再生する準備をします。

録音した曲を聴く場合：

「基本的な再生のしかた」(64ページ)の手順1〜3の操作をします。

ボイスレコーダーで録音した音声を聴く場合：

「録音した音声を聴く」(83ページ)の手順1〜4の操作をし、MENUを押します。

2 ▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「リジューム再生」を選び、▶IIを押します。

前回途中で停止した曲が、先頭から始まります。

参考

- パソコンから音楽データを取り込んだり、ダイレクト録音をした直後、または新たな録音を行うと以前再生した曲や音声の情報が消えていますので「リジューム再生」は表示されません。



お気に入りの音楽を登録して聴く

「お気に入りリスト」に曲を登録することで、お気に入りの曲だけを登録順に再生することができます。(最大100曲まで)

好みの曲をお気に入りリストに登録する

1 **音楽モードのリスト画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて登録したい曲やフォルダを選びます。**

2 **MENUを押します。**

3 **「お気に入りに追加」を選び、▶IIを押します。**

追加登録の完了メッセージが表示されます。

4 **▶IIを押します。**

MENUを押したときの画面に戻ります。

5 **同じ操作を繰り返し、好みの曲を順に登録します。**

参考

- フォルダを選んで登録を行った場合、フォルダ内の曲がお気に入りリストに追加登録されます。フォルダ自体は登録されません。
- 「これ以上登録できません」と表示されたときは、最大登録曲数を超えています。必要に応じてお気に入りリストから曲を削除してください。(68ページ)

お気に入りリストで曲を聴く

1 **「基本的な再生のしかた」(64ページ)手順1～3の操作をします。**

2 ▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「お気に入りリスト」を選び、▶IIを押します。

お気に入りリストが表示されます。

3 リストから聴きたい曲を選び、▶IIを押します。

再生が始まります。

お気に入りリストから曲を削除する

曲の登録を解除します。（音楽データは削除されません）
1曲ずつ解除したり、全曲の登録を一度に解除したりできます。

1 「基本的な再生のしかた」(64ページ)手順1～3の操作をします。

2 ▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「お気に入りリスト」を選び、▶IIを押します。

お気に入りリストが表示されます。

3 登録を解除する曲を選びます。

4 MENUを押します。

5 「リストから削除」を選び、▶IIを押します。

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　　　：選んだ曲だけがお気に入りリストから削除されます。
すべて削除：お気に入りリストの全曲がリストから削除されます。
キャンセル：削除を取りやめます。

6 削除の範囲を選び、▶IIを押します。

確認画面が表示されます。

7 ▶IIを〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「はい」を選び、▶IIを押します。

登録が解除されます。



聴くときの設定を変える

音響効果を使う(イコライザー)

聴いている曲や音声に応じて音響効果を使い分けることができます。
「バス」を選ぶと低音が強調されます。

1 曲の再生中に、MENUを押します。

2 ▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「EQ」を選び、▶IIを押します。

音響効果選択画面が表示されます。
選ばれている音響効果の左にはチェックマークが付いています。

3 「ノーマル」「ロック」「クラシック」「ポップ」「バス」「ソフト」のいずれかを選び、▶IIを押します。

再生中の曲に、選んだ音響効果が加わります。好みに応じて切り替えてください。

解除するには、上記の操作で「ノーマル」を選びます。





- 曲の停止中でも操作できます。

リピート(繰り返し再生)を設定する

その曲や音声だけを繰り返したり、リスト内のすべての曲を繰り返したりできます。
リピートの設定では次の項目が選択できます。

オフ　：リピート再生を行いません。
1曲　：再生を開始した曲や音声を繰り返し再生します。
全曲　：再生を開始すると、その曲が含まれるリストの全曲を順番に、停止するまで繰り返し再生します。(音楽モードのみ)

1 **音楽モードやボイスレコーダーモードのリスト選択画面などで MENU を押し、「リピート」を選んで▶II を押します。**

繰り返し再生の設定画面が表示されます。

2 **設定したい再生のしかたを選んで▶II を押します。**

MENU を押したときの画面に戻ります。

シャッフルを設定する

音楽再生時に、リスト(フォルダ)内の音楽データを順番に再生するか、
毎回、順番を変えて(ランダムに)再生するかを選ぶことができます。

オフ　：順番に再生　　　オン：順番を変えて再生

1 **音楽モードのリスト選択画面などで MENU を押し、「シャッフル」を選んで▶II を押します。**

シャッフルのオン／オフ設定画面が表示されます。

2 オン／オフを選んで ▶II を押します。

MENU を押したときの画面に戻ります。

A↔B 区間繰り返し再生

繰り返し聴きたい区間を設定し、再生することができます。

1 A↔B 区間繰り返し設定が「オン」になっているか確認します。

①**音楽モードの場合**：

「基本的な再生のしかた」(64ページ)の手順1〜3の操作をします。

ボイスレコーダーモードの場合：

「録音した音声を聴く」(83ページ)の手順1〜4の操作をします。

② MENU を押します。

③ ▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「A↔B ボタン設定」を選び、▶II を押します。

機能の選択画面が表示されます。

④「AB区間リピート」を選び、▶II を押します。

2 音楽再生中に、繰り返し開始位置で A↔B を押し（"A"を表示）、繰り返し終了位置で A↔B を押します（"B"を表示）。

設定した範囲が、繰り返し再生されます。

範囲の設定は、再生を停止するか、A↔B を押すと解除されます。

再生速度を切り替える

音楽再生時の速度を3段階に切り替えることができます。

1 再生速度切替が「オン」になっているか確認します。

①**音楽モードの場合：**

「基本的な再生のしかた」(64ページ)の手順1〜3の操作をします。

ボイスレコーダーモードの場合：

「録音した音声を聴く」(83ページ)の手順1〜4の操作をします。

② MENU を押します。

③ ▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「 A↔B ボタン設定」を選び、 ▶II を押します。

機能の選択画面が表示されます。

④「再生速度切替」を選び、 ▶II を押します。

2 音楽再生中や一時停止中に A↔B を押します。

押すたびに、再生速度が次のように変わります。

90%→110%→100%→90%・・・
（遅）（速）（標準）（遅）

再生速度は、電源を切ると標準に戻ります。



録音した音楽を削除する

1曲ずつ削除したり、フォルダを削除したり、フォルダを含む全曲を一度に削除したりできます。いったん削除すると、この操作は取り消せませんのでご注意ください。

1 **「基本的な再生のしかた」(64ページ)手順1～3の操作をします。**

2 **▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「曲リスト」または「録音リスト」を選び、▶II を押します。**

3 **削除したい曲、フォルダまたはリストを選びます。**

4 **MENU を押します。**

5 **「削除」を選び、▶II を押します。**

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　　　　：選んだ曲、フォルダまたはリストが削除されます。
すべて削除　：手順2で選んだ「曲リスト」または「録音リスト」の全曲が削除されます。
キャンセル　：削除を取りやめます。

6 **削除の範囲を選び、▶II を押します。**

確認画面が表示されます。

7 **▶II を〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「はい」を選び、▶II を押します。**

音楽データが削除されます。



- 曲の再生中でも操作できます。ただし、この場合は削除の範囲を選択する画面は表示されず、直接、再生中の曲の削除の確認画面が表示されます。

FMトランスミッターを使う



FMトランスミッターを使う前に

本機に録音した音楽データなどを、FM電波でFMラジオなどのFM受信機に送信することができます。

FMトランスミッター機能を使うときのご注意

- FM受信機は近くにないと受信できません。
  FMトランスミッター機能は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。微弱電波はFM放送などの電波を妨害しないように、極めて低い出力で送信される電波ですので、ごく近くのFM受信機でのみ受信できます。
- 付属のヘッドホンのコードがアンテナになります。(他のヘッドホンは使用しないでください)
  必ず付属のヘッドホンを正しく接続し、コードをまっすぐ伸ばしてご使用ください。また、FM受信機とコード(アンテナ)の角度や位置、周囲の環境(近くに金属物や電化製品があるなど)によって受信状態が変わりますので、コードの位置や伸ばす方向などを変えてみてください。
- ご使用のFM受信機によっては、受信状態が良くないことがあります。
- カーラジオを使用する場合、車種によっては雑音が入ることがあります。

ご注意

- 本機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することは、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害する恐れがありますので、厳重にお控えください。



FMトランスミッターで送信する

FMトランスミッター機能のオン／オフは、音楽モード、ボイスレコーダーモードでそれぞれ設定する必要があります。

1 **ヘッドホン（付属）をヘッドホン端子に接続します。**

2 **送信するデータに合わせて、音楽モード、またはボイスレコーダーモード画面に切り替えます。**

音楽モード　：アルバムや曲のリスト画面
ボイスレコーダーモード　：ボイス録音のリスト画面

3 **[MENU]を押します。**

4 **[▶II]を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「FMトランスミッター」を選び、[▶II]を押します。**

5 **「オン」を選び、[▶II]を押します。**

送信周波数の選択画面が表示されます。
周波数は、85.1～88.9MHz（0.2MHz間隔）の範囲で選べます。

参考

- ご使用になる地域のFM放送と重ならない周波数を選ぶ必要があります。

6 **周波数を選び、[▶II]を押します。**

選んだ周波数を覚えておいてください。

7 **本機で音楽データなどを再生します。**

送信が始まります。

8 **FM受信機の周波数を、手順6で選んだ周波数に合わせます。**

FM受信機で再生音が受信されます。

9 **受信状態が良くなるように、ヘッドホンのコードの位置を調整します。**

音量を調節する

本機、FM受信機のいずれでも調節できます。

1 **FM受信機の音量を、ふだん放送を聴くときの音量に調節します。**

2 **本機で音楽データを送信し、FM受信機で受信します。**

3 **FM受信機からの音量が、手順1の音量と同じ程度になるように、本機の音量を調節します。**

参考

- 本機の音量を上げすぎると音がひずむことがあります。音がひずんだ場合は、本機の音量を下げ、FM受信機で音量を調節してください。

FMトランスミッターを上手に使うために

◎カーラジオで聴く場合

カーラジオは車種により、FM受信感度が大きく異なります。ご利用の車種で雑音が多かったり、受信できない場合は、次の点を確認してみてください。

1. 車種により、カーラジオのアンテナの位置が異なります。車の取扱説明書や、ディーラーにお問い合わせいただき、アンテナの位置を確認してください。
2. 本機にヘッドホン(付属)を接続してコードを伸ばし、カーラジオのアンテナに平行になるようにして、できるだけ近くに置きます。(アンテナから遠いと受信状態が悪くなります)
3. 本機からの電波をカーラジオで受信し、受信状態を確認します。

◎ラジカセなどオーディオ機器で聴く場合

オーディオ機器のFM受信機は、基本的に微弱電波を受信するようになっていませんので、遠く離れると受信できません。

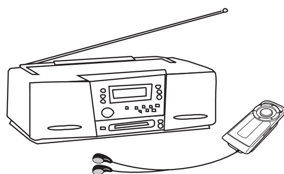
本機にヘッドホン(付属)を接続し、オーディオ機器のアンテナのできるだけ近くに、ヘッドホンのコードを伸ばして置く必要があります。

また、FM受信機にはノイズ除去機能がついている機種があります。この機能は微弱電波をノイズと判断して除去してしまい、本機から送信した微弱なFM電波をまったく受信しない場合があります。この場合は、別のFM受信機でお試しください。

こんなときは

FMトランスミッター機能で送信した音楽などをFM受信機で受信したとき、雑音が多い、モノラルで受信されるなどの状況になる場合は、次の点を確認してみてください。

- 本機のヘッドホン端子にきちんとヘッドホン(付属)が接続されていますか?
  ➡ ヘッドホンのコードがアンテナになるので、正しく接続しないと電波が送信されません。
- ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか?
  ➡ コードが丸まっていたり、折りたたまれていると、電波は弱くなります。
- ヘッドホンとオーディオ機器やカーラジオの位置関係は適切ですか?
  ➡ ヘッドホンとFM受信機のアンテナの方向は平行になるようにすると受信しやすくなります。また、距離はできるだけ近づけてください。



- FMトランスミッターの送信周波数やFM受信機の周波数は適切ですか?
  ➡ 送信周波数と受信周波数を合わせないと正しく受信できません。
  また、FM放送局に近い周波数を選択すると雑音が多くなることがあります。
  この場合は、送信/受信周波数を変えて、より影響の少ない周波数をお選びください。
- 本機の音量は適切ですか?
  ➡ FMトランスミッター機能で発信する音量は、本機で調節できます。
  FM受信機で大きな音を出していないのに音が割れたり、ひずんで聞こえる場合は、本機の音量を下げてみてください。

ボイスレコーダー
を使う

Voice Recorder



ボイスレコーダーを使う前に

マイクを内蔵しているため、ボイスレコーダーとして使用できます。
打ち合わせのときや、メモしておきたいことを声で録音するのに便利です。

録音を始める前に

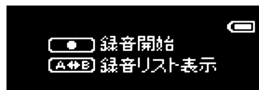
大切な録音をする前に、必ず試し録音をして、本機で再生音を確認してください。
音源からの距離や声の大きさに合わせて録音レベルを調整してください。
録音レベルが適切でないと、音が小さすぎたり、大きすぎて音が割れたりします。（59ページ）



録音する

1 MENU を押して電源を入れます。
モード選択画面が表示されます。

2 ▶II を〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「ボイス」を選び、▶II を押します。
ボイスレコーダーモード画面が表示されます。



3 必要に応じて、録音レベル、録音音質の設定をします。
録音レベルの設定のしかた　：59ページの手順2～4の操作をします。
録音音質の設定のしかた　　：61ページの手順2～4の操作をします。

4 [●]を押します。

録音が始まります。



録音を一時停止するには	を押します。 再開するには、再度[▶II]を押します。
録音を停止するには	を押します。

参考

- 録音データは、「VO001.MP3」、「VO002.MP3」、「VO003.MP3」…のファイル名で保存されます。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- 録音中、本機に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音された音量とは異なります。録音レベルは、録音した後の本機の再生音で確認してください。
- ボイスレコーダーでの録音は内蔵マイクでのみ行えます。外部マイクを接続して録音することはできません。



録音した音声を聴く

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**

2 **MENU を押して電源を入れます。**

モード選択画面が表示されます。

3 **▶II を〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「ボイス」を選び、▶II を押します。**

ボイスレコーダーモード画面が表示されます。

4 **A↔B を押して、再生リストを表示させます。**

5 **リストから聴きたい音声を選び、▶II を押します。**

選んだ音声の再生が始まります。

音量を調節するには	大きくする：▶II を〔VOL+〕へスライドさせる 小さくする：▶II を〔VOL-〕へスライドさせる
再生を一時停止するには	▶II を押します。 再開するには、再度 ▶II を押します。
次の曲／前の曲へ移動するには	次の音声へ：再生中に ▶II を〔▶▶I〕へスライドさせる 前の音声へ：再生中に ▶II を〔I◀◀〕へスライドさせる （音声の先頭で ▶II を〔I◀◀〕へスライドさせると前の音声に移動し、音声の途中でスライドさせると、再生中の音声の先頭に移動します。）
早送り／巻き戻しするには	再生中に ▶II を〔▶▶I〕(早送り)または〔I◀◀〕(巻戻し)にスライドさせたままにして好みの位置で指を離します。
再生を停止するには	■ を押します。

音声を聴くときの設定を変える

設定を変えていろいろな聴き方ができます。
操作方法については次の各ページをご覧ください。

リジューム再生をする……………66ページ

音響効果を使う（イコライザー）…69ページ

リピートを設定する………………1曲リピートのみ可能です。（70ページ）

A←→B区間繰り返し再生をする…71ページ

再生速度を切り替える……………72ページ



録音した音声を削除する

いったん削除すると、この操作は取り消せませんのでご注意ください。

1 **「録音した音声を聴く」(83ページ)手順1～4の操作をします。**

2 **削除したい音声を選びます。**

3 **MENUを押します。**

4 **▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「削除」を選び、▶IIを押します。**

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　：選んだ音声が削除されます。
すべて削除　：すべての音声が削除されます。
キャンセル　：削除を取りやめます。

5 **削除の範囲を選び、▶IIを押します。**

確認画面が表示されます。

6 **▶IIを〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「はい」を選び、▶IIを押します。**

録音データが削除されます。

設定メニュー



設定メニューを表示させる

好みに応じて本機の設定を変更することで、本機がより使いやすくなります。
設定の変更は、設定メニューから行います。

設定メニューの一覧

変更できる設定項目は次のとおりです。

オートパワーオフ	ボタン操作のない状態が続いたとき、本機の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。	88ページ
スリープタイマー	再生中、本機の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。	89ページ
省電力設定	再生を行っている際に、ボタン操作のない状態が続いたとき、表示部の表示を消すなどの設定をします。	89ページ
コントラスト	表示部の明るさを変更します。	90ページ
フェードインボリューム	電源を入れた後、最初に音が出るときに徐々に音を大きくしていく機能を設定します。	91ページ
設定の初期化	変更した設定をご購入時の状態に戻します。	92ページ
製品情報	本機のバージョン情報、本体メモリ、ファイル数などを表示します。	92ページ

設定メニューの表示のしかた

1 **MENU を押して電源を入れます。**

モード選択画面が表示されます。

2 **▶II を〔I◀◀〕または〔▶▶I〕にスライドさせて「設定」を選び、▶II を押します。**

設定メニュー画面が表示されます。

オートパワーオフ ▶
スリープタイマー

オートパワーオフの設定

ボタン操作のない状態が続いたとき、本機の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。

オフ	オートパワーオフは働きません。
1分、2分、3分、4分、5分	選んだ時間が経過すると、電源が切れます。

参考

- 録音中または再生中およびファイルの削除中は、オートパワーオフは働きません。

1 **設定メニュー画面で、▶II を〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「オートパワーオフ」を選び、▶II を押します。**

設定画面が表示されます。

2 **時間などを選び、▶II を押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

スリープタイマーの設定

好みの音楽を聴きながら就寝されるときなどに便利です（再生中のみ有効です）。

オフ	スリープタイマーは働きません。
30分、45分、60分、75分、90分	選んだ時間が経過すると、電源が切れます。

参考

- 設定した時間が来る前に手動で電源を切ると、スリープタイマーは解除され、設定は「オフ」になります。

1 **設定メニュー画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「スリープタイマー」を選び、▶IIを押します。**

設定画面が表示されます。

2 **時間などを選び、▶IIを押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

省電力設定

再生画面において、約10秒間ボタン操作がないとき、次の表示になるよう設定をすることができます。

通常モード	通常の再生画面を表示します。
省電力モード	次のボタン操作があるまで簡単なマークなどの表示を行います。
スクリーンオフ	次のボタン操作があるまで表示を消します。

1 設定メニュー画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「省電力設定」を選び、▶IIを押します。

設定画面が表示されます。

2 表示の種類を選び、▶IIを押します。

設定メニュー画面に戻ります。

コントラストの調整

周りの明るさに応じて見やすい位置に調整してください。

1 設定メニュー画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「コントラスト」を選び、▶IIを押します。

設定画面が表示されます。

2 ▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて、明るさを調整します。

▶IIをスライドさせたままにすると連続して変化します。

3 調整を終えたら▶IIを押します。

設定メニュー画面に戻ります。

フェードインボリュームの設定

急に大音量が出て耳を痛めることを防ぐため、電源を入れた後、最初に音が出るときに徐々に音を大きくしていくフェードインボリューム機能をオン／オフします。

1 設定メニュー画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「フェードインボリューム」を選び▶IIを押します。

フェードインボリュームの設定画面が表示されます。

2 「オン」または「オフ」を選び▶IIを押します。

設定メニュー画面に戻ります。

設定をご購入時の状態に戻す（リセット）

「音楽」、「ボイス」、「設定」の各設定がご購入時の状態に戻ります。（お気に入りリストの情報は初期化されません）

1 **設定メニュー画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「設定の初期化」を選び、▶IIを押します。**

初期化画面が表示されます。

2 **「リセット」を選び、▶IIを押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

本機の情報を確認する

本機のバージョン情報、メモリ使用状況、ファイル数などを表示します。

1 **設定メニュー画面で、▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて「製品情報」を選び、▶IIを押します。**

製品情報画面が表示されます。

2 **▶IIを〔VOL+〕または〔VOL-〕にスライドさせて、ページを切り替えます。**

3 **確認を終えたら、▶IIを押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

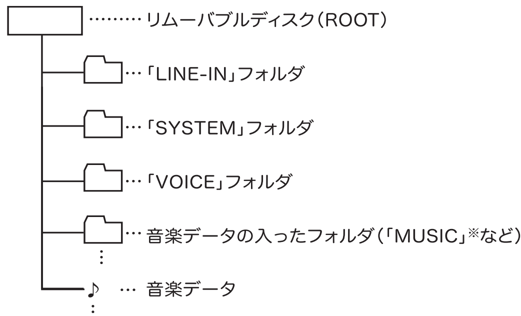
MEMO

付 録



パソコン接続時のフォルダ構成について

本機をパソコンに接続すると、Windows上では、次のようなフォルダが保存されたリムーバブルディスクとして見えます。



「LINE-IN」フォルダ　：ダイレクト録音した音楽データファイルが入ります。
「SYSTEM」フォルダ　：このフォルダは、本機のシステムが使用し、各種設定情報、管理情報が格納されます。
「VOICE」フォルダ　：ボイスレコーダーで録音した、録音データ(ファイル)が入ります。

これらのフォルダの名前は変更しないでください。また、これらのフォルダに音楽データ(ファイル)を入れないでください。
音楽データが入ったフォルダや音楽データは、「曲リスト」から選択することができます。

※Microsoft® Windows Media® Player 10 で同期をしたり、音楽CDデータ転送ソフトで転送した場合、MUSICフォルダの中に(MUSICフォルダがなければ作成してその中に)、アーティスト名フォルダが作られ、その中にアルバム名フォルダが作られて、音楽ファイルが入ります。
(音楽などを本機に取り込む方法は39ページを参照ください)



ご購入直後の状態に戻したいときは

パソコンで本機のメモリをフォーマットします。メモリをフォーマットすると本機内のすべてのデータが消去されます。設定も初期状態に戻ります。

1 **本機とパソコンを接続します。**

2 **「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

3 **本機に該当する「リムーバブルディスク」を右クリックし、「フォーマット」を選びます。**

4 **ファイルシステムで「FAT32」を選び、[開始]をクリックします。**

参考

- 「FAT32」以外は選ばないでください。
- Windows® 98 Second Edition および Windows® Millennium Edition では、「ファイルシステム」の「FAT32」は表示されません。そのまま「開始」をクリックしてください。

5 **[閉じる]をクリックします。**

6 **本機をパソコンから取り外し、本機の電源を入れ直します。**

ご注意

- フォーマットの対象が本機であることをよく確認してから実行してください。誤って、他のドライブをフォーマットすると、パソコン上の大切なファイルを消すことになりますのでご注意ください。



仕様

本体

形名	MP-S700	MP-S800
品名	デジタルオーディオプレーヤー	
内蔵メモリ	512MB（ユーザー領域：約488MB）	1GB（ユーザー領域：約979MB）
入出力端子	ヘッドホン端子（φ3.5）、専用ミニUSB端子（LINE-IN端子兼用）	
対応ファイル	ファイル形式 WMA、MP3（ダイレクト録音は独自形式）	
取扱ファイル数	最大400ファイル	
取扱フォルダ数	最大50フォルダ（階層は20段まで）	
最大録音時間※1	約10時間 （録音条件 録音音質：低（96kbps））	約20時間 （録音条件 録音音質：低（96kbps））
FMトランスミッター送信可能周波数	85.1MHz～88.9MHzの範囲で0.2MHz間隔で設定可能	
使用温度	0℃～40℃	
ヘッドホン最大出力	5mW	
使用電源	1.5V（DC）：単4形アルカリ乾電池LR03　1本	
消費電力	0.8W	
外形寸法	幅33mm×奥行き83.7mm×厚さ18.3mm	
質量	約43g（電池含む）	
付属品	ヘッドホン（3.5Φ）、USB対応ケーブル、LINE-INケーブル、CD-ROM、フックホルダー、アルカリ乾電池 単4形、取扱説明書、クイックスタートガイド、お客様ご相談窓口のご案内	

※1： 最大録音時間はメモリのユーザー領域をすべて録音に使用した場合です。

乾電池1本あたりの再生可能時間・録音可能時間

		ファイル形式	アルカリ乾電池(LR-03)使用時	再生条件／録音条件
再生時間1 (FMトランスミッター：オフ)		MP3	約14.5時間	音量：15 イコライザー：ノーマル 使用温度：25℃ 省電力設定：スクリーンオフ 連続再生
		WMA	約10時間	
再生時間2 (FMトランスミッター：オン)		MP3	約4時間	
		WMA	約3.5時間	
録音時間				録音レベル：中 録音音質：中
	ダイレクト録音	SZM(独自形式)	約1.5時間	
	ボイスレコーダー録音	MP3		

- 使用環境や使用方法により、再生時間、録音時間が短くなることがあります。

付属ケーブル

USB対応ケーブル	約145cm
LINE-INケーブル	約145cm
ヘッドホン	約115cm

各モードのステレオ／モノラル録音について

	音楽（LINE-IN）	ボイスレコーダー
録音チャンネル	ステレオ録音※1	モノラル録音

※1 外部音源がステレオ再生されているときのみ

各モードの録音初期設定値

	音楽（LINE-IN）	ボイスレコーダー
録音音質	高	中
録音レベル	中	中

録音音質と録音時間について（音楽（LINE-IN）、ボイスレコーダー）

録音音質	高（128kbps）	中（112kbps）	低（96kbps）
MP-S700	約7時間30分	約8時間30分	約10時間
MP-S800	約15時間	約17時間	約20時間

- サポートページではさまざまな情報を掲載しています。下記URLにアクセスしていただきご確認ください。
  http://www.sharp.co.jp/support/mp/index.html
- ファームウェアのバージョンアップについて
  ファームウェアをバージョンアップすることで本機の機能を改善できることがあります。
  最新の情報がないか上記のサポートページをご確認ください。



アフターサービスについて

保証について

1. この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 保証期間後の修理は…

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけください。
ご自分での修理はしないでください。

2. アフターサービスについてわからないことは･･･

お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

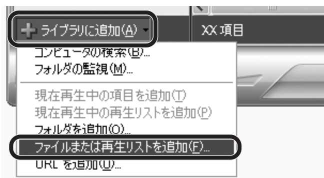


よくあるご質問

Q. 音楽配信サイトを利用したいが気をつけることは?

A. WMA形式の音楽データを配信している音楽配信サイトをご利用ください。(他形式の音楽データをWMAに変換して再生することはできません)
音楽データの検索方法や購入方法は、音楽配信サイトのヘルプ情報などをご覧ください。
購入した音楽データは、次の操作で本機に転送できます。

① Windows Media® Player 10を起動します。
② 画面上部の「ライブラリ」タブをクリックします。
③ 画面左下の「ライブラリに追加」をクリックし、「ファイルまたは再生リストを追加」をクリックします。
「ファイルを開く」画面が表示されます。



④ 購入した音楽データをクリックして選び、[開く]をクリックします。
選んだ音楽データがライブラリに追加されます。
⑤「取り込んだ音楽データを本機に転送する」(52ページ)の操作をして本機に転送します。

ご注意

- DRM10には対応しておりません。

Q. 録音データをパソコンにバックアップしたいのだが、どうすればいい?

A. 次の操作でバックアップできます。

① パソコンの電源を入れます。

② 本機とパソコンを接続します。（30ページ）

③「マイコンピュータ」画面の本機に該当する「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開きます。

④ 次のフォルダをパソコンの任意の場所にコピーします。

「LINE-IN」フォルダ：オーディオ機器から録音した音楽データ
「VOICE」フォルダ：ボイスレコーダーで録音した録音データ

パソコンにコピーしたファイルの日付はすべて「2006/01/01 0:00」になります。



故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、101ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	• 電池が消耗していませんか？ アルカリ乾電池と交換して電源を入れてください。 （18ページ）
自動的に表示が消える	• 省電力設定で「スクリーンオフ」に設定されていませんか？（89ページ）
ボタンを押しても動作しない／ 電源を入れても、すぐにオフしてしまう	• HOLD がホールド側になっていませんか？ホールド側になっていると他のボタンが動きません。 また、電源を入れてもすぐに電源オフの状態に戻ります。 • 電池ぶたロックスイッチが“OPEN”側になっていませんか？このときも、すぐに電源オフの状態に戻ります。
音が出ない	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ • 音量が最小になっていませんか？ • 転送したデータのファイル形式は正しいですか？ （63ページ） • 著作権違反のデータではありませんか？ 曲の入手元、本機への転送手段を確認してください。 （39ページ）

こんなときは	ここをお確かめください
録音できない	• メモリ残量が不足状態になっていませんか？ 不要なデータを削除してください。
FMトランスミッターで送信できない	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ • ヘッドホンのコードは伸ばして置いていますか? • 付属のヘッドホンを使用していますか？ • ヘッドホンとFM受信機の位置は適切ですか？ ヘッドホンとFM受信機のアンテナの方向を平行にし、近づけてください。 • FMトランスミッターは「オン」になっていますか？ • 妨害電波を発生するものが近くにありませんか？ • 本機の音量は適切になっていますか？ • FM電波を遮断するような障害物がありませんか？ アンテナ（ヘッドホン）の方向を変えてみてください。 • 本機のFMトランスミッター送信レベルは、電波法で規定された微弱電波になっています。受信しているFM受信機を、より感度の高いものに変えてみてください。 また、本機とFM受信機は、できるだけ近づけてください。 • FM受信機のノイズ除去機能が働いていませんか？ 別のFM受信機で試してみてください。 • FM放送局に近い周波数を選んでいませんか？ 送信／受信周波数を変えて、影響の少ない周波数を選んでください。

こんなときは	ここをお確かめください
FMトランスミッター送信でノイズ音が発生する	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ • FM電波を妨害するような電波発生機器や電波を遮断するようなものがありませんか？ アンテナ（ヘッドホン）の方向を変えてみてください。 • 金属に近づけたり、金属の机の上に置いていませんか？
FMトランスミッター送信で音がきこえない/音が歪む	• 本機の音量が小さい／大きい可能性があります。
Microsoft® Windows Media® Player 10で音楽データが同期できない	• 付属のUSB対応ケーブルが正しく接続されていますか？ • パソコン側でMicrosoft® Windows Media® Player 10が正しく動作して本機を認識していますか？ パソコンを再起動し、本機を接続してみてください。 Microsoft® Windows Media® Player 10が正しくインストールできているか確認してください。 • 本機のメモリ残量が不足状態になっていませんか? 本機の不要なデータを削除してください。

こんなときは	ここをお確かめください
音楽データを正常に再生できない	• パソコンに接続し、メモリをフォーマットしてください。（97ページ） • 音楽CDデータ転送ソフトやMicrosoft® Windows Media® Player 10を使用せずにコピーしていませんか？同期によるコピーでないと、著作権保護されている音楽データは再生されません。
「保存フォルダ（またはファイル）数が上限を超えました」というメッセージが表示され、全ての曲が表示されない	• ファイルのコピー操作などを行ったあとに表示された場合は、フォルダ数またはファイル数が制限を超えています。不要なフォルダまたはファイルを削除してください。 制限値：フォルダ数　50フォルダ ファイル数　400ファイル （MP-S700、MP-S800とも同じ） 上記の制限値を超えるとエラーになります。
外部機器から録音すると、音が小さい／ひずむ	• 音が小さい場合や、大きすぎて音がひずむ場合は本機の録音レベルを調整してみてください。（59ページ） それでも適正な録音ができないときは、外部機器のヘッドホン端子など、他の出力端子を使用してみてください。 また外部機器の音量を少し小さめに調節してみてください。
パソコンに本機を接続しても認識されない	• 一度外して、再度接続してみてください。 • OSがWindows® 98 Second Edition の場合は、USB対応ドライバをインストールしてください。（33ページ）

こんなときは	ここをお確かめください
パソコンに本機を接続しても認識されない	• USBハブを使って接続していませんか？ USBハブを使うと、パソコンに認識されない場合があります。USBハブを外してパソコンと直接接続してください。



異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなど、ごくまれにすべてのボタンが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。
このときは、本機の裏面にある**RESET**（リセット）スイッチをボールペンなどで押して離したあと、電源を入れ直してください。

MEMO

MEMO



保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。
   なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
   （イ）本書のご提示がない場合。
   （ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ）火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
   （ヘ）電池の液もれによる故障・損傷。
   （ト）消耗品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ）持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合、出張料はお客様のご負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋(メールパック：文具店などでお求めいただけます)などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

修理メモ

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター



0120-303-909

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

	（TEL）	（FAX）
東日本相談室	043-351-1822	043-299-8280
西日本相談室	06-6792-1583	06-6792-5993

《受付時間》　（年末年始を除く）

月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜･祝日：午前10時～午後5時

● 修理のご相談は‥

製品に付属の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ

http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA

06GSB(TINSJ1266EHZZ)